artistry in sound

ONKYO

CR-185II

CDチューナーアンプ

INTEC

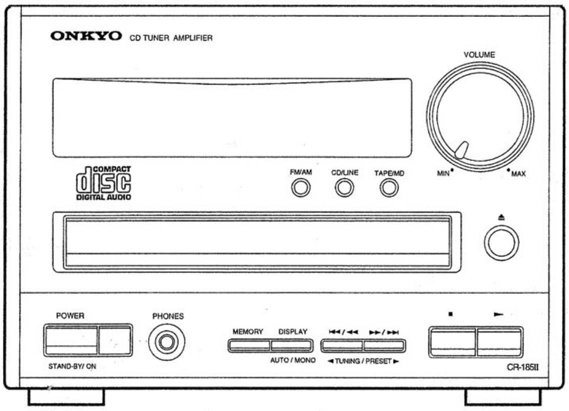
COMPONENT WORLD

185 COMPONENT COLLECTION

取扱説明書

-お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前に「オーディオ機器の正しい使い方」とこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになったあとは、保証書、オンキョーサービス網一覧表とともにいつでも見られる所に大切に保管してください。

取扱説明書 Manualsite
http://www.edinet.ne.jp/~gakuchi/Manuals/Manual.htm



COMPACT disc DIGITAL AUDIO

目次

ページ

ご使用の前に 2
特長 2
付属品について 2
接続 4
各部の名称 8
- 前面パネル
- リモコン

操作確認音について 10
現在時刻と曜日を合わせる 11
音量、音質を調整する 12
放送を聞く 14
- 自動的にFM放送局を記憶させる(オートプリセットメモリー)
- 希望の放送局を記憶させる
- プリセットした放送局を消す
- 放送を聞く

CDを聞く 18
- 1曲目から演奏する(ノーマル演奏)
- 聞きたい曲から演奏する(ダイレクト演奏)
- ランダムに演奏する(ランダム演奏)
- 残り時間や経過時間を確かめる
- 予約演奏する(メモリー演奏)
- リピート演奏する

タイマー演奏と録音 23
- タイマー演奏をする
- タイマー演奏の曜日を変更する
- タイマー録音をする
- スリープタイマー

ディスクの取り扱い 28
故障？と思ったら 29
主な仕様 31
アフターサービスについて .... 裏表紙

ご使用の前に

オーディオ機器を安全にお使いいただくために必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」と別冊の「オーディオ機器の正しい使い方」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

＊ 安全に正しく本機をご使用いただくために、まず始めに別冊の「オーディオ機器の正しい使い方」を必ずお読みください。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜け

● 万一、煙が出ている、変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 機器内部に異物が入ったり、破損した場合は

電源プラグをコンセントから抜け

● 万一、機器の内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
● 万一、本機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 絶対に、キャビネットは外さない

● 本機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは、絶対に外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズまた、静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約5秒後にあらためて電源プラグを差し込んでください。

特長

■ ハイクオリティ単品設計
単独での性能を追求した高音質設計。発展性のある独立電源・オーディオコード接続です。

■ MD, TAPE, LINEの3系統入力、光デジタル出力1系統装備
MD, カセット以外にさらに1系統の音声入力が可能。
テレビやコンピューターの音声を接続すれば迫力あるサウンドに早変わり。

■ システムコントロール・多機能リモコン
低域／高域／バランスの調整や、重低音を増強するスーパーバスのON/OFFができるシステムリモコンを装備。これひとつで、CDチューナーアンプ、MDレコーダー、カセットデッキをリスニングポジションから操作することができます。

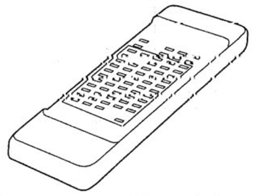
■ 4Ω対応ディスクリート構成アンプ
アンプ部には、フルサイズコンポでは常識のディスクリート構成を採用。部品の一つ一つを厳選し、高音質のための余裕のあるレイアウトを行って力強くきめの細かなサウンドを実現しています。またアンプにとって負担の大きいインピーダンス4Ωのスピーカーにも対応、さまざまな単品スピーカーをドライブできます。

■ リニアシングルビットD/Aコンバーター
小音量時の表現力を重視して作られたD/Aコンバーター。音楽の繊細な表情までくっきりあざやかに再現します

付属品について

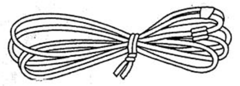
ご使用前に次の付属品が入っていることをお確かめください。

● リモコン(1)

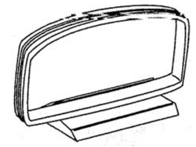


● 単3形乾電池(2)

● FM室内アンテナ(1)



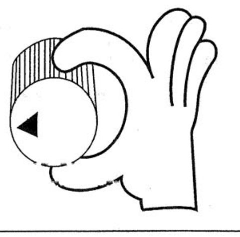
● AM室内アンテナ(1)



● 取扱説明書(1)
● オーディオ機器の正しい使い方(1)
● 保証書(1)
● サービス網一覧表(1)

レンタルCDの注意について
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

音のエチケット
楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



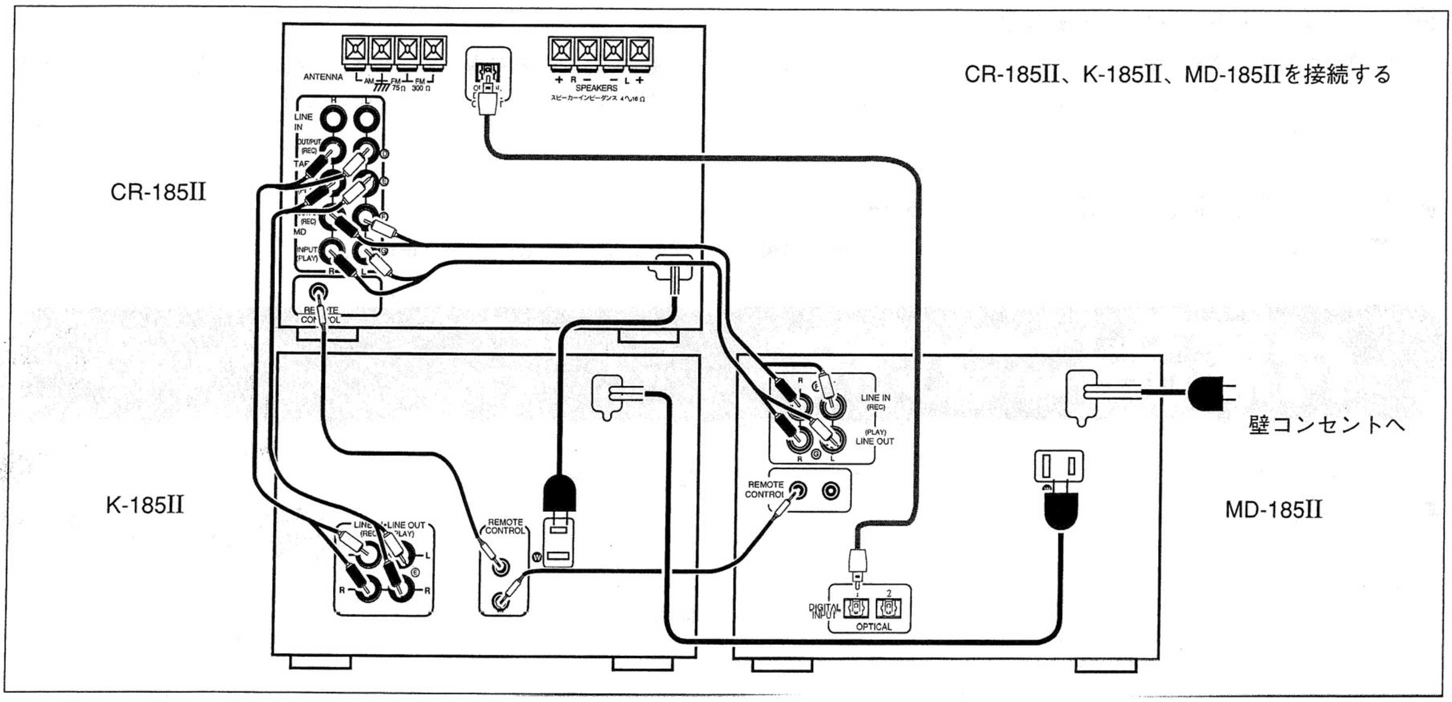
接続

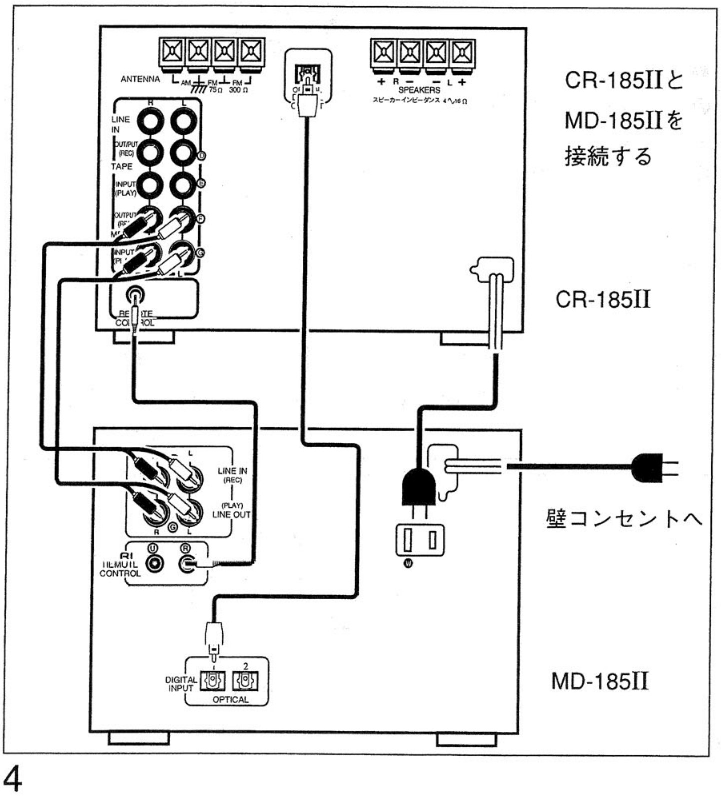
■システム接続のしかた（INTEC185IIシリーズとの接続）

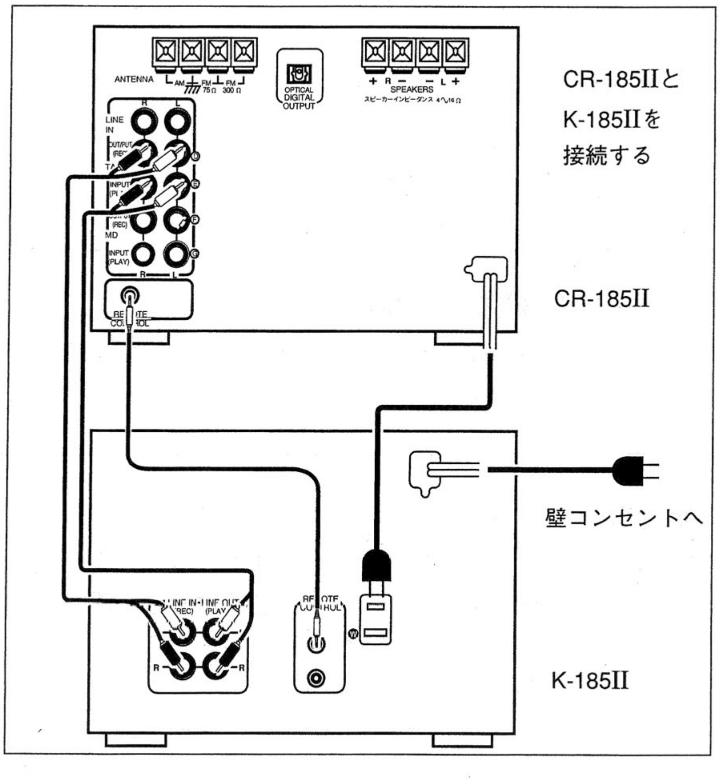
- 各機器に付属のオーディオ用ピンコード（赤、白プラグ付き）を使用し、赤いプラグは[R]側に、白いプラグは[L] 側に接続します。
- デジタルオーディオ用光接続コードを使用するときは、小さく折り曲げたりきつく巻いたりしないでください。
- プラグはしっかりと奥まで差し込んでください。不完全な接続は、雑音や動作不良の原因となります。
- 各機器に付属のRIケーブルで、REMOTE CONTROL端子を接続します。
- すべての接続が完了してから、電源プラグをコンセントに接続してください。
- MD-185II, K-185IIは、CR-185IIの上に置かないようにしてください。
- オーディオコードは電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねると、音質低下の原因となります。

ご注意

本機の電源を入れると、瞬間的に大きな電流が流れる場合があります。電源コード接続時に他の機器（コンピューターなど）への影響を確認してください。支障が出ると予想される場合は、他のブレーカーから配線されたコンセントを使用してください。







■システム機能について

INTEC185IIで左ページのようにシステム接続した場合、次のような操作ができます。
INTEC185IIのシステム動作については、MD-185II, K-185IIの取扱説明書もあわせてご覧ください。

- **システムリモコン動作**
- **タイマー動作：**本機でタイマー時間を設定し、WEEKDAY/WEEKENDのタイマー演奏やタイマー録音ができます。
- **CDダビング：**MD-185II, K-185IIとの組み合わせで、便利なCDダビングができます。
- **オートプレイ動作：**電源OFFの状態からでもワンタッチで好みのソースの演奏を始めます。
- **ワンタッチプレイ動作：**再生を始めると、自動的に入力を切り換えて演奏を始めます。

■LINE IN端子について

この端子には、BSチューナー、CS-PCMチューナー、DATなどのオーディオ機器やビデオ機器のアナログ音声出力を接続することができます。接続する機器のOUTPUT(出力)端子をこの端子に接続してください。

- **LINE IN端子に接続した機器を演奏するときは**
  1. 入力切り換えボタンのCD/LINEボタンを押して"LINE"を表示します。
  2. 接続した機器を演奏します。
- **入力表示切り換えについて**
  1で表示させた"LINE"は、接続した機器に応じて、BSまたは、CS-PCMに切り換えることができます。
  1. "LINE"を表示させます。
  2. MEMORYボタンを押しながら、DISPLAYボタンを押して希望の表示を選びます。

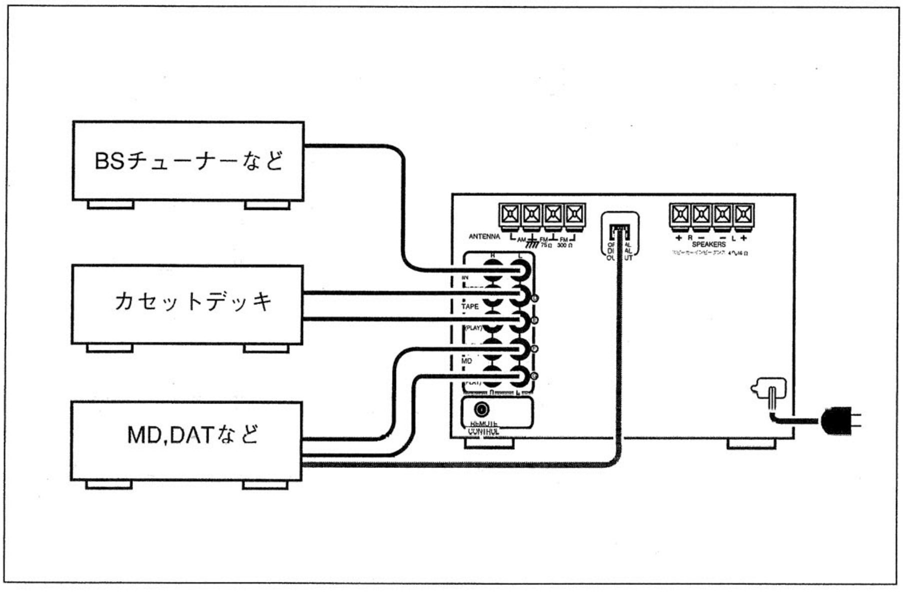
→ LINE → BS → CS-PCM ┐（CS-PCMからLINEへ戻る）　のように、押すごとに切り換わります。

■デジタル出力(DIGITAL OUTPUT)端子について

MD(ミニディスクレコーダー)やDAT(デジタルオーディオテープレコーダー)などと接続し、デジタル録音ができます。
詳しくは、各製品の取扱説明書をご覧ください。
接続には市販の光ファイバーケーブルを使用します。

ご注意

デジタル出力端子には保護用キャップが取り付けられています。接続時は、このキャップを取り外してください。使用しない場合、キャップは必ずもとどおりに取り付けておいてください。



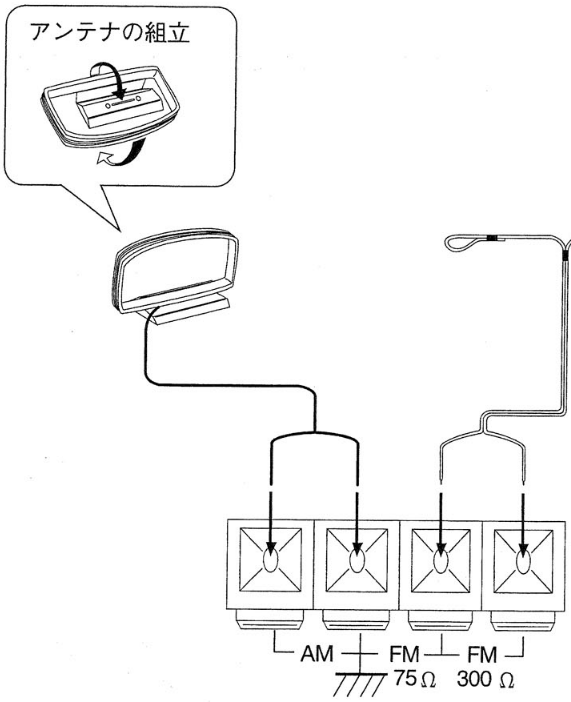
INTEC185IIシリーズ以外のカセットデッキ、MD、DATなどと接続する場合

接続

ご注意

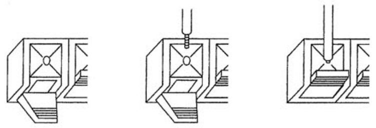
すべての接続が完了してから、電源プラグをコンセントに接続してください。

付属のFM、AM室内アンテナの接続



アンテナコードのつなぎかた

① レバーを下げる。 ② コードの先端を穴に差し込む。 ③レバーを上げる。



AM室内アンテナについて

良好な受信状態になるようにアンテナの設置場所を変えたり、左右に回して調整してください。

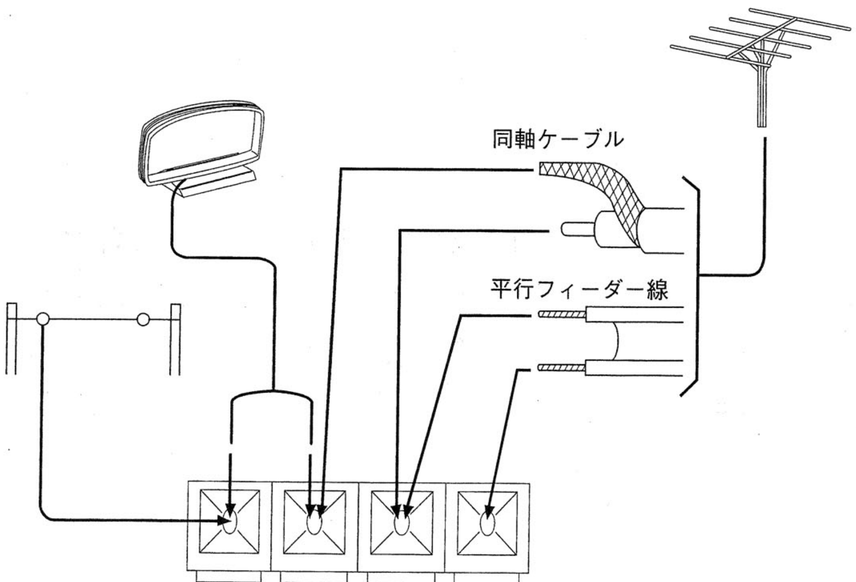
FM室内アンテナについて

電波の強い地域では、付属のFM室内アンテナで放送を聞くことができます。放送を聞きながら、ひずみや雑音の最も少ない位置にT字型に固定してください。

ヒント

- 雑音の原因となりますので、AM室内アンテナは、本機、テレビ、各接続コードからできるだけ離してください。
- FM室内アンテナで安定した受信ができないときは、屋外アンテナを設置してください。

FM、AM屋外アンテナの接続



AM屋外アンテナについて

鉄筋住宅の場合などでAM室内アンテナだけでは受信状態が悪いときは、5m以上のビニール被覆線を窓ぎわや屋外にはってください。

ご注意

AM屋外アンテナを接続するときは、必ずAM室内アンテナも接続しておいてください。

FM屋外アンテナについて

アンテナ線の種類に応じて、左図のように接続します。

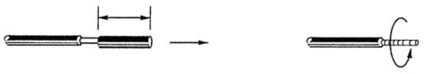
ヒント

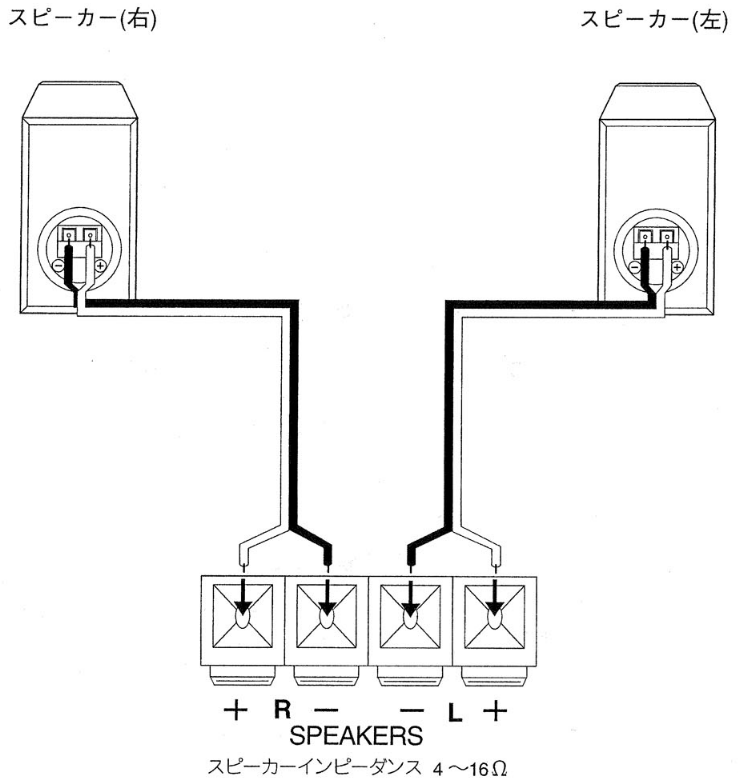
- 建物の陰にならず、FM放送電波が直接受信できる所に設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

ご注意

- 送電線の近くは危険ですので設置しないでください。
- アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

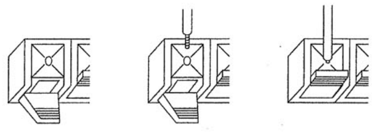
スピーカーの接続　（被覆をはがし芯線をよじってください。）





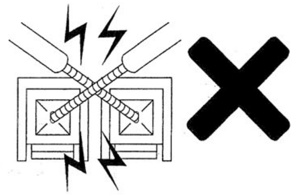
スピーカーコードのつなぎかた

① レバーを下げる。　② コードの先端を穴に差し込む。　③レバーを上げる。

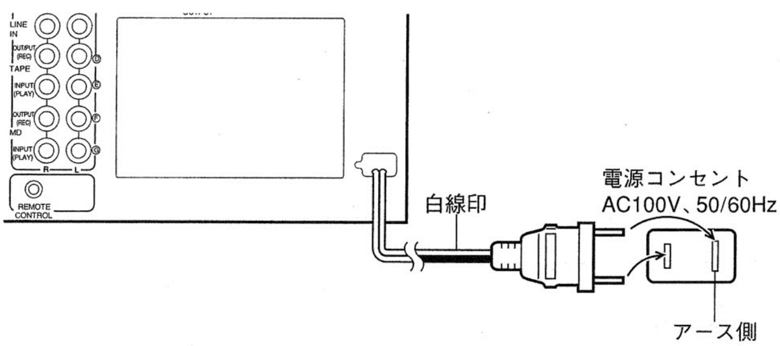


ご注意

- ＋と－の極性をまちがえたり、左右を逆に接続すると不自然な音となります。正確に接続してください。
- スピーカーコードの芯線部が他の端子や金属部に接触していないか確認してください。
- スピーカーは、インピーダンスが4Ω～16Ωのものをご使用ください。4Ω未満のものは使用できません。



電源コードの接続



電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

ヒント

より良い音で聞くために

本機の電源コードは極性が管理されています。電源コードの片側に白線の入っている方を、家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。

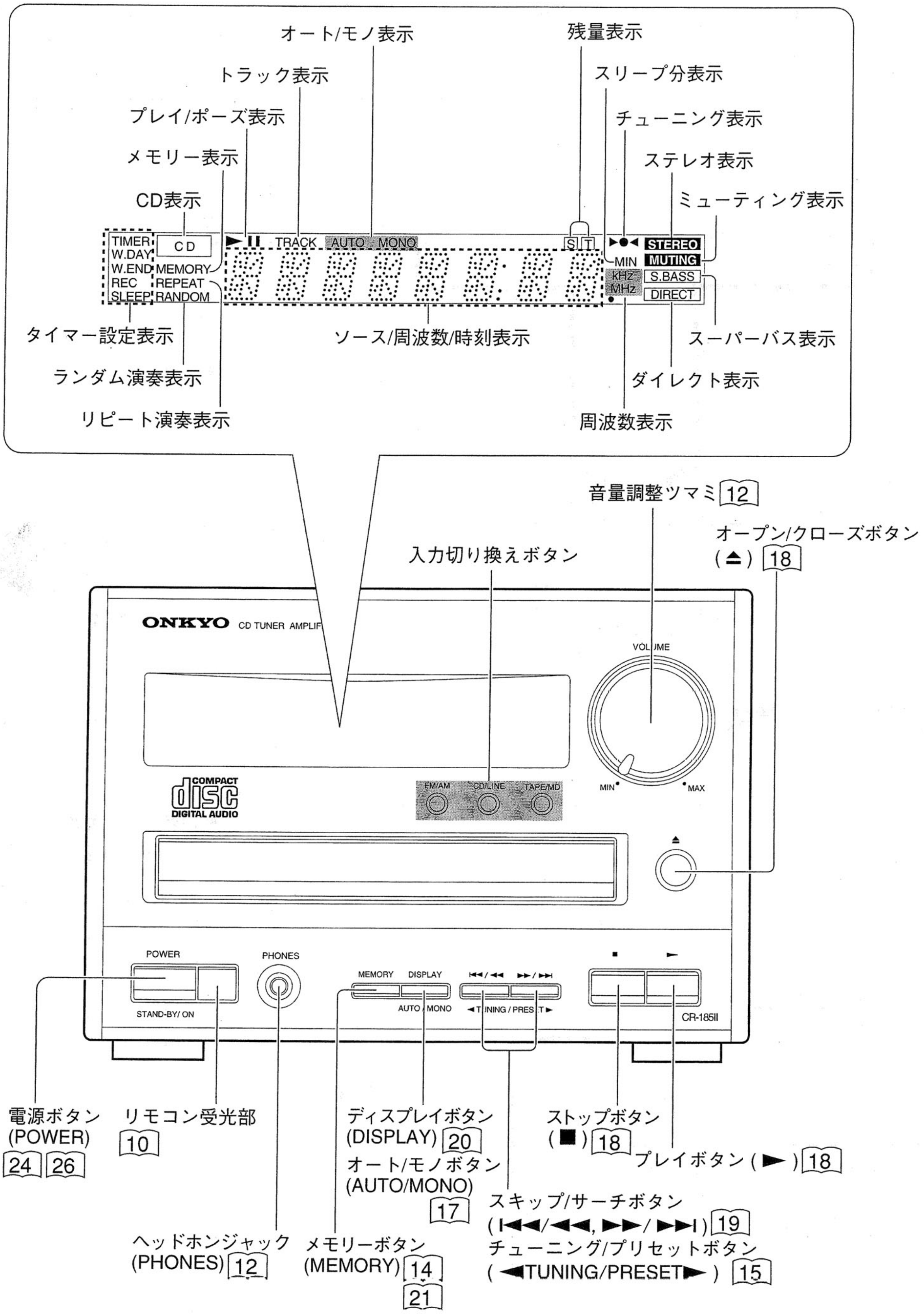
- 溝の長さが同じコンセントでは

市販の検電ドライバーで判定することもできますが、プラグの差し込みを逆にして音質を聞き比べ、良い方をお選びください。

各部の名称

■前面パネル

□内の数字は詳しい説明のあるページです。



各部の名称

■リモコン

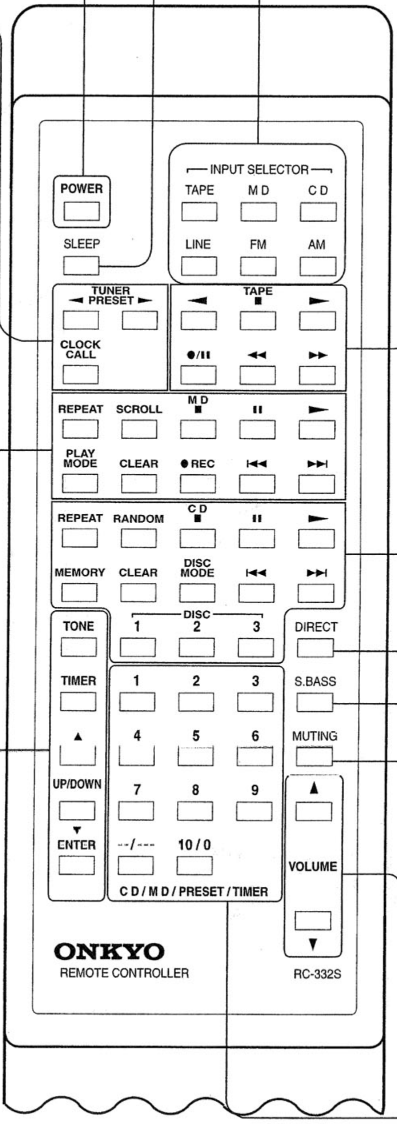
スリープボタン [27]
90分から10分までの範囲で、10分単位で電源が切れるまでの時間を設定できます。

電源ボタン [24][26]
電源の入/切を行います。

チューナー操作ボタン [17][11]
◄ PRESET ►：プリセットされた放送局を選びます。
CLOCK CALL：時刻呼び出しボタン - ディスプレイを時刻表示にします。

MD操作ボタン
MD-185IIの操作ができます
►：演奏を始めます。
■：演奏を止めます。
I◄◄：演奏中の曲または前の曲の頭出しをします。
►►I：次の曲の頭出しをします。
II：演奏を一時停止します。
●REC：録音待機状態にします。
REPEAT：フルリピートと一曲リピート演奏を切り換えます。
SCROLL：タイトルをスクロールします。
CLEAR：プログラムした曲を消去します。
PLAY MODE：ランダム、リピート、ノーマル演奏を切り換えます。

モード切り換えボタン
TIMER：押すたびに、次の5種類の設定モードが切り換わります。[11][24]
WEEKDAY：設定した曜日のタイマー演奏の設定
WEEKEND：設定した曜日のタイマー演奏の設定
REC：タイマー録音の設定
DAY SET：WEEKDAYとWEEKENDの曜日の変更
ADJUST：現在時刻と曜日の設定
TONE：音質(低音/高音)とバランスを調整します。[13]
ENTER：TIMERボタン/TONEボタン/▲または▼ボタンで選択した(ディスプレイに表示させた)内容を確定します。
▲と▼：TIMERまたはTONEボタンで選択した項目の設定内容を選びます。選択後、ENTERボタンを押します。



入力切り換えボタン
聞くソースを選ぶときに押します。

テープデッキ操作ボタン
K-185IIの操作ができます。
►：おもて(A)面を再生します。
◄：うら(B)面を再生します。
◄◄：テープを左方向に早送りします。
►►：テープを右方向に早送りします。
■：再生や早送りを止めます。
●/II：録音待機状態にします

CDプレーヤー操作ボタン [18]
►：演奏を始めます。
II：演奏を一時停止します。
RANDOM：ランダムに演奏します。
■：演奏を止めます。
I◄◄/►►I：前後の曲の頭出しをします。
REPEAT：全曲を繰り返し演奏します。
MEMORY：メモリー演奏時に使います。
CLEAR：メモリーした曲を消去します。
DISC MODE・DISC 1,2,3：CR-185IIでは使用しません。

ダイレクトボタン [13]
音質調整やスーパーバスの回路を解除します。

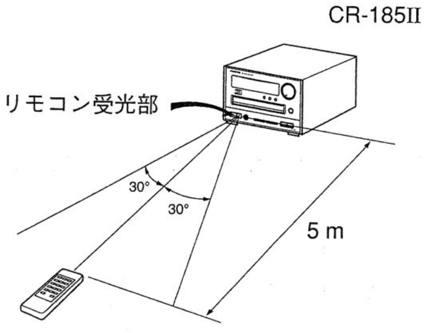
スーパーバスボタン [13]
重低音を強調します。

ミューティングボタン [12]
一時的に音量を落とします。

音量調整ボタン [12]
音量を上げ下げします。

数字ボタン
・CDやMDの選曲、タイマーの時刻設定などに使います。
・インプットセレクターで選んでいるソースによって、CD用、MD用、チューナー用タイマー用に切り換わります。

リモコンの使いかた

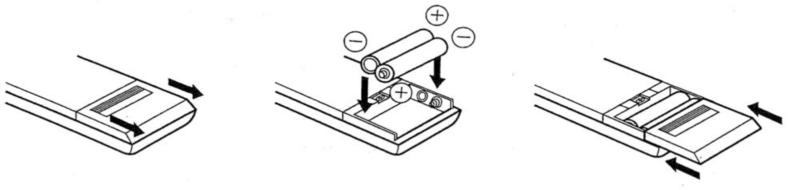


リモコンは本機のリモコン受光部にむけて操作してください。また、途中に障害物があると操作できません。

ご注意

- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

乾電池の交換



乾電池の寿命は約1年です。リモコン操作の距離が短くなったと感じたら、2本とも新しい乾電池(単3形)と交換してください。

ご注意

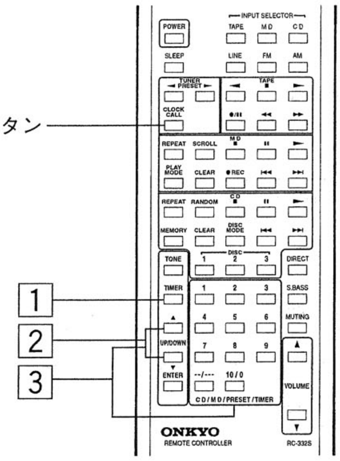
- 電池の極性(＋、－)は、表示どおり正しく入れてください。
- 種類の異なる電池の混用は避けてください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、電池を取り出しておいてください。

操作確認音について

CR-185IIでは、本体とリモコンのボタン操作を音で確認できるように、ボタンを押すたびに確認音を出すことができます。
確認音を消すには、本体のTAPE/MDボタンを押しながら電源ボタン(POWER)を押してください。確認音を出したい時も、同じ操作をします。
確認音は例えば、
ミューティングボタン(MUTING)の場合、ボタンを押したときにミューティングONで1回(ピッ)、OFFで2回(ピッピッ)と確認音が出ます。
トーンボタン(TONE)を押してから▲または▼ボタンで音質を設定する場合は、0(フラット)位置で2回(ピッピッ)、その他の設定位置では1回(ピッ)、エンターボタン(ENTER)を押すと設定終了を知らせる2回(ピッピー)の確認音が出ます。

INTEC 185IIシリーズのカセットデッキまたは、MDレコーダーをシステム接続しても、ボタン操作で確認音が出ます。

現在時刻と曜日を合わせる



リモコンのみの操作です。

- 電源プラグをコンセントに差し込むと、ディスプレイに"0:00"が点滅します。
- 時計は24時間表示です。例えば午後5時30分は、"17:30"と表示します。

ご注意

時計を合わせた後で停電があったり、コンセントを抜いた場合は、"0:00"が点滅します。このときは再度時刻を合わせてください。

例えば、金曜日の午前9時38分に時刻を合わせるには

1 時刻表示にする。

- タイマーボタンを押すたびに、モード表示が切り換わります。
- "ADJUST"表示のときに、エンターボタンを押してください。

2 曜日を合わせる。

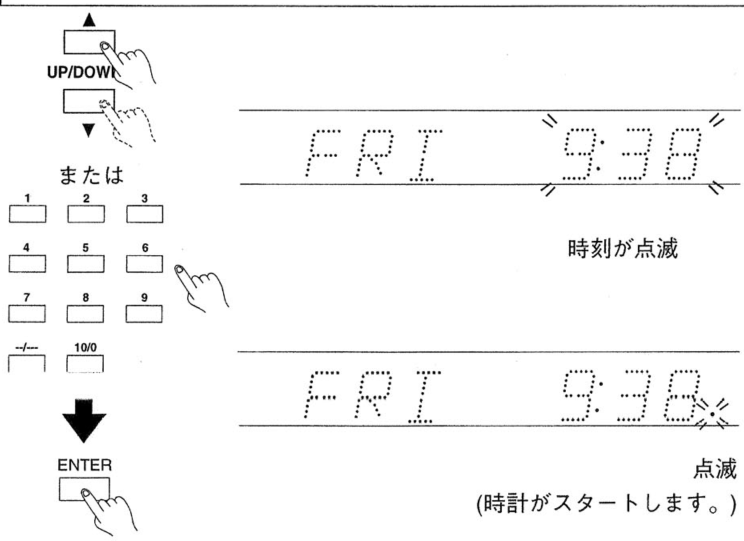
- ▲または▼ボタンを押すと、曜日が切り換わります。
- 希望の曜日（金曜日の場合はFRI）が点滅しているときに、エンターボタンを押してください。

ヒント

リモコン数字ボタンでも、曜日を選べます。

1：SUN（日）	5：THU（木）
2：MON（月）	6：FRI（金）
3：TUE（火）	7：SAT（土）
4：WED（水）	

3 時刻を合わせる。



- ▲または▼か数字ボタンで時刻を入力し、エンターボタンを押します。

例：　午前9時38分にセットするには

10/0 ＋ 9 ＋ 3 ＋ 8 ＋ ENTER

午前11時00分にセットするには

1 ＋ 1 ＋ 10/0 ＋ 10/0 ＋ ENTER

- 時報などに合わせて、エンターボタンを押してください。

ヒント

タイマーの時刻合わせも同じ手順でできます。

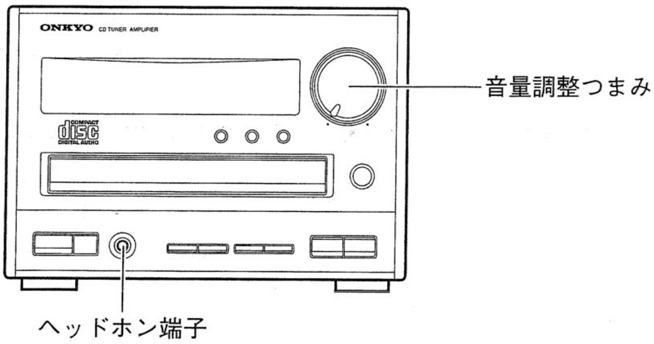
時刻表示に切り換えるには

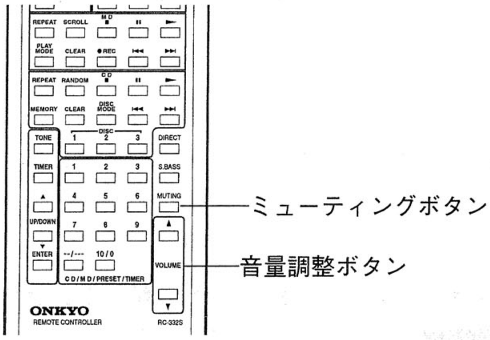
電源が入った状態で、リモコンの時刻呼び出しボタン(CLOCK CALL)を押します。
最初の約3秒間は曜日と時刻、その後ソースと時刻を表示します。もう一度押すと、元の表示に戻ります。

音量、音質を調整する

ご注意

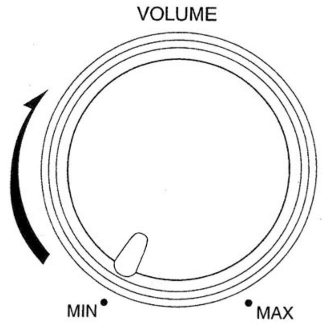
音量、音質の調整の確認は放送やCDを聞きながら行ってください。演奏の方法は　14ページ「放送を聞く」、18ページ「CDを聞く」をご覧ください。



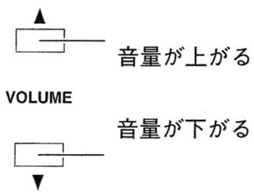


音量を調整する

右に回すと音量が上がります。



リモコン

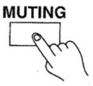


ご注意

いきなり大きな音を出すと、スピーカーがこわれることがあります。少しずつ右に回して調整してください。

音を一時的に小さくする(ミューティング)

リモコンのみの操作です。



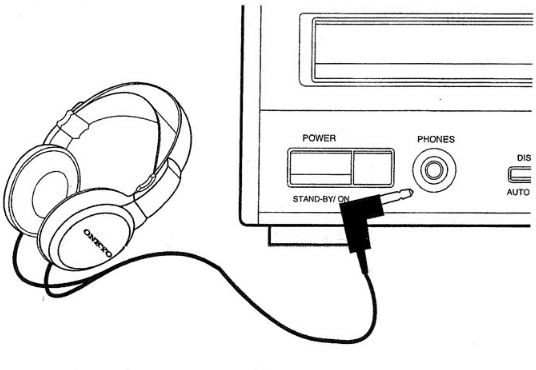
音がごく小さくなります。

ミューティング表示が点滅します。

ミューティングを解除するには

もう一度ミューティングボタンを押します。
リモコンの音量調整ボタンを押したり、電源を切った場合も解除されます。

ヘッドホンで聞く



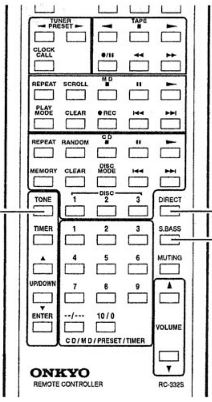
音量を下げて、ヘッドホン端子(PHONES)にヘッドホンを接続します。
音量は音量調整つまみまたはリモコンの音量調整ボタンで調整します。

ヒント

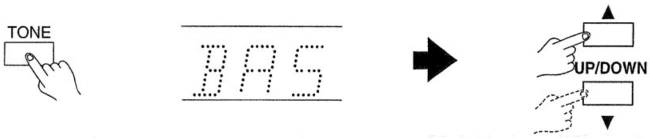
ヘッドホン接続時はスピーカーから音は出ません。
ヘッドホンを抜きさしするときは音量をしぼってください。

■音質(低音/高音)とバランスを調整する

リモコンのみの操作です。



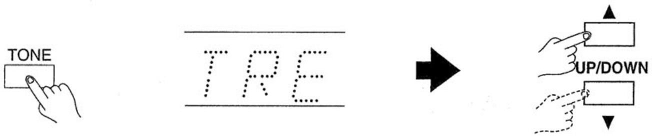
1 低音を調整する。



トーンボタンを押すたびに、表示が切り換わります。

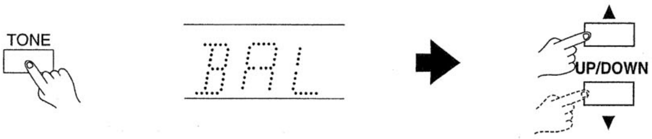
- "BAS"表示のときに、▲または▼ボタンで調整します。
  (＋10〜－10の範囲で±5段階)
- エンターボタンを押すと元の表示(入力)に戻ります。

2 高音を調整する。



- トーンボタンを押すたびに、表示が切り換わります。
- "TRE"表示のときに、▲または▼ボタンで調整します。
  (＋10〜－10の範囲で±5段階)
- エンターボタンを押すと元の表示(入力)に戻ります。

3 左右のバランスを調整する。



- トーンボタンを押すたびに表示が切り換わります。
- "BAL"表示のときに、▲ボタンでR(右)チャンネル側に3段階(R1〜R3)、▼ボタンでL(左)チャンネル側に3段階(L1〜L3)の調整を行います。
- 通常は0にセットしてください。
- L3(R3)に調整すると、右(左)の音量が約半分になります。
- エンターボタンを押すと元の表示(入力)に戻ります。

重低音を強調する

リモコンのみの操作です。

重低音を強調した迫力のある音楽が楽しめます。

スーパーバス表示が点灯します。

元の音に戻すには
もう一度スーパーバスボタンを押します。

ソースダイレクトで聞く

リモコンのみの操作です。

音質調整やスーパーバスの回路の設定を解除します。
ダイレクト表示が点灯します。

元の音に戻すには
もう一度ダイレクトボタンを押します。

放送を聞く

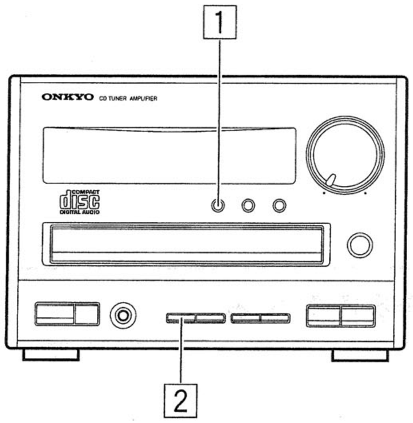
■自動的にFM放送局を記憶させる(オートプリセットメモリー)

放送局を記憶させるには、次の2通りがあります。

- すべてのFM放送局を続けて受信し、自動的に記憶させる（オートプリセットメモリー）
- 希望の放送局を受信し、希望のプリセットナンバーに記憶させる(プリセットメモリー)詳しくは15ページをご覧ください。

ご注意

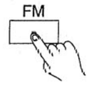
- 記憶させることのできる放送局は30局です。30局を越えると"FULL"表示になり、それ以上記憶できません。
- AM放送局を受信中にリモコンを操作すると、雑音が入ることがあります。
- 電源コードを抜いたり停電状態が数日間続くと、プリセットされていた放送局や音質調整など、消えることがあります。その場合は、再度プリセットしてください。

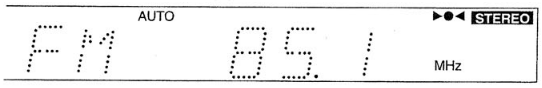


1 FM表示にする。

または

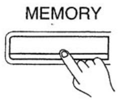
リモコン

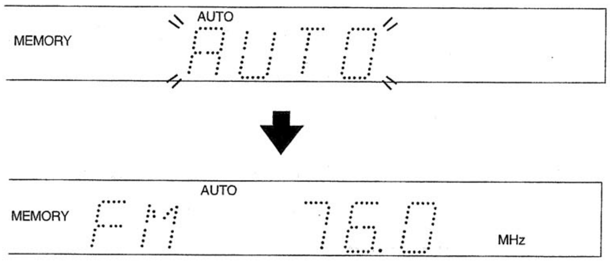




- FM/AMボタンを押します。
- FM/AMボタンを押すたびに、FM/AMが切り替わります。

2 オートプリセットメモリーを始める。



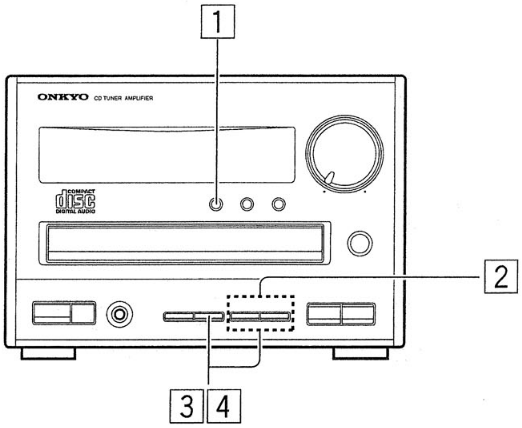


- メモリーボタンを押し続けるとAUTO表示が点滅を始め、さらに押し続けると周波数表示が自動的に変化してFMの受信局を記憶します。
- オートプリセットされたFM局を確認するには、◄または►ボタンまたは、数字ボタンでプリセット局を選びます。詳しくは17ページをご覧ください。

ご注意

- FMオートプリセットの局数は20局です。受信局が20局以上ある場合、電波の強い局が優先されます。すでに10局以上のAM受信局がプリセットされているとき、FMのオートプリセットメモリーでは30局からの残りの局数のオートプリセットメモリーを行います。(AM12局の時FMは18局まで)
- オートプリセットメモリー動作に入ると、すでにプリセットされていたFM放送局はすべて消去されます。

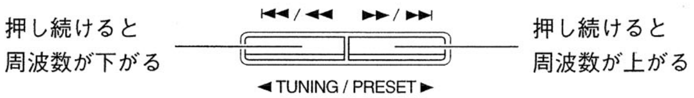
■希望の放送局を記憶させる(プリセットメモリー)



1 受信バンド(FM/AM)を選ぶ。

- FM/AMボタンを押すたびに、FM/AMが切り換わります。
- 希望の受信バンドを表示させてください。

2 選局する。

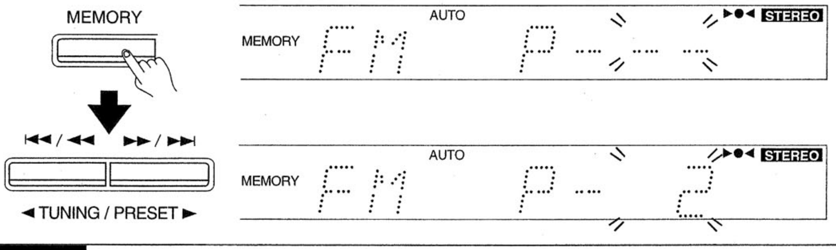


ヒント

AMの場合: ◀または▶ボタンを押し続けると受信周波数が変化します。指を離したところで停止します。微調整をするときは、周波数が点滅している間に◀または▶ボタンで調整してください。

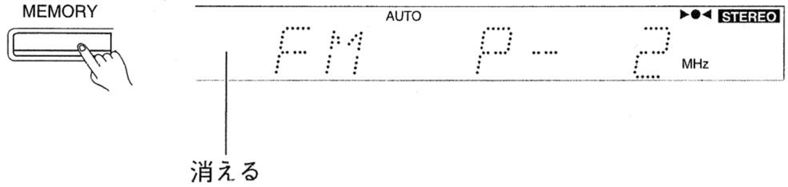
FMの場合: ◀または▶ボタンを約1秒押し続けると受信周波数が変化します。最初に受信した放送局で停止します(オートチューニング機能)。微調整をするときは、周波数が点滅している間に◀または▶ボタンで調整してください。

3 プリセットナンバーを選ぶ。



- メモリーボタンを押し、◀または▶ボタンで希望のプリセットナンバーを表示させます。
- メモリーボタンを長く押し続けると"AUTO"点滅表示になり、さらに押し続けるとメモリーされたFMプリセット局がすべて消去されるオートプリセットメモリー動作に入りますのでご注意ください。

4 プリセットナンバーに記憶させる。

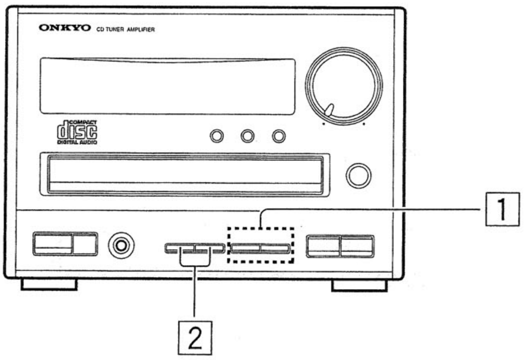


- メモリーボタンを押します。
  MEMORY表示が消え、手順2で選局した放送局が、手順3で選んだプリセットナンバーに記憶されます。
- メモリーボタンを約8秒間押さないと元の周波数表示に戻ります。(メモリー表示消灯)

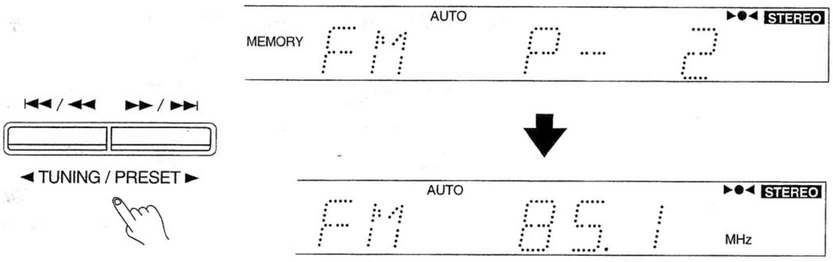
ヒント

- 次の放送局をメモリーするには、手順2～4を繰り返します。
- 同じプリセットナンバーに新たに放送局をプリセットすると、元の放送局は消去されます。

■プリセットした放送局を消す



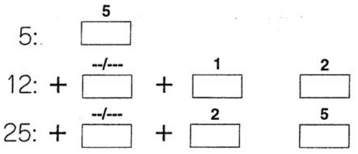
1 プリセットナンバーを選ぶ。



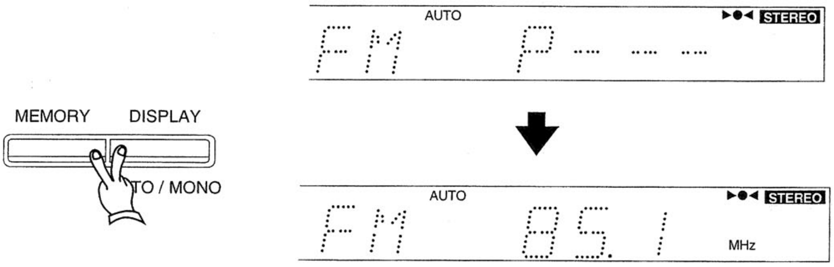
◄または►ボタンまたは、リモコンの数字ボタンを押して、消したいプリセットナンバーと放送局を表示させます。

ヒント

- 数字ボタンで選ぶには

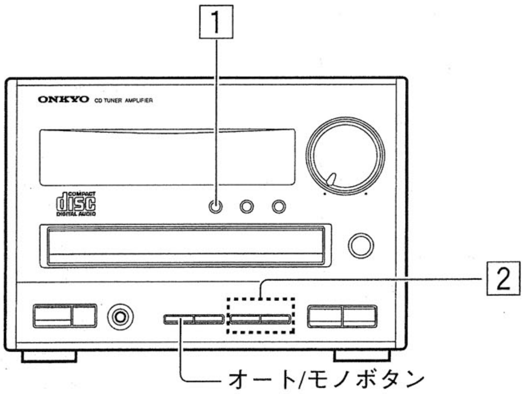


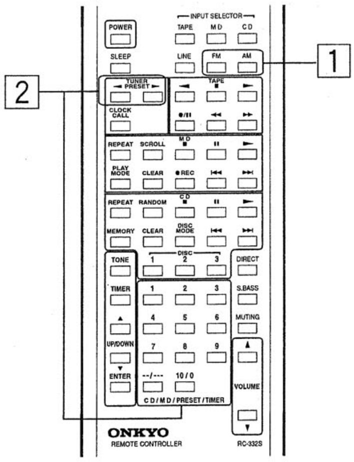
2 プリセット局を消す。



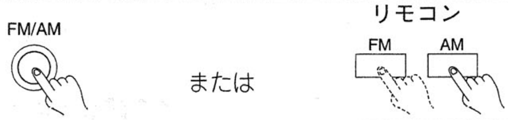
- メモリーボタンを押しながら、オート/モノボタンを押します。

■放送を聞く



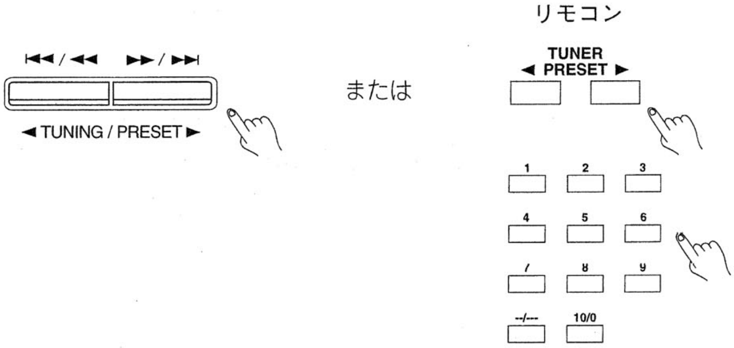


1 受信バンド(FM/AM)を選ぶ。



- FM/AMボタンを押すたびに、FM/AM表示が切り換わります。
- 希望の受信バンドを表示させてください。

2 プリセットナンバーを選ぶ。



◀または▶ボタンまたは数字ボタンを押して、希望のプリセットナンバーと受信周波数を表示させます。

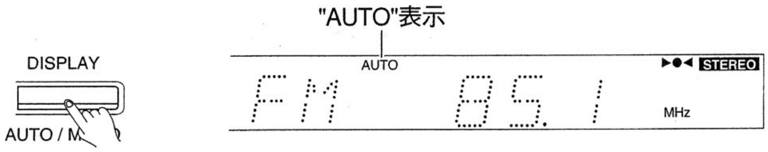
ヒント

電源を切っても、最後に受信していた放送局は記憶されています。再び電源を入れると、同じ放送局の受信状態になります。

ご注意

数日間電源コードを抜いたままにしておくとメモリー内容が消えてしまうことがあります。

FM/AMステレオ放送を聞くには



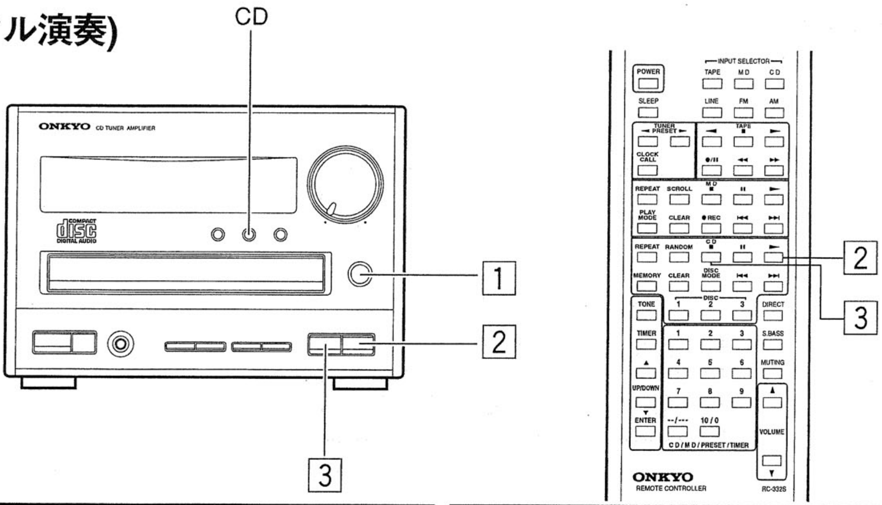
オート/モノボタンを押し、"AUTO"表示を点灯させます。
FMまたはAMのステレオ放送を受信すると、"STEREO" 表示が点灯します。

ヒント

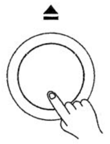
- 電波の弱い所や雑音の多い所では"STEREO"表示は点灯しません。"STEREO"表示が点滅している場合は、もう一度オート/モノボタンを押して"MONO"表示に切り換えてモノラル受信してください。雑音や音切れを軽減できます。
- 受信状態が悪い場合は、室内アンテナの方向を変えたり、または窓際など電波の強い場所へ移動してみてください。それでも改善されない場合は、屋外アンテナの設置をおすすめします。

CDを聞く

■1曲目から演奏する(ノーマル演奏)



1　ディスクを入れる。



ヒント

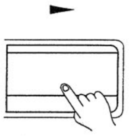
スタンバイ状態からオープン/クローズ(▲)ボタンを押すと、自動的に電源が入り、入力切り換えはCDになりディスクトレイが開きます。

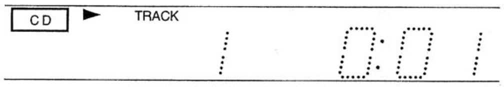
ディスクトレイを閉じるには

もう一度オープン/クローズボタン(▲)を押してください。

ディスクトレイの前面を軽く押して閉じることもできます。

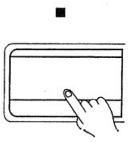
2　演奏を始める。

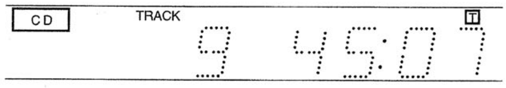




プレイボタン(►)を押すと、ディスクトレイが自動的に閉まり、1曲目から演奏が始まります。

3　演奏を止める。



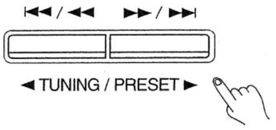


演奏を一時停止するには

リモコンのポーズボタン(❚❚)を押します。► ❚❚表示が点灯します。

リモコンのポーズボタン(❚❚)またはプレイボタン(►)を押すと、再び同じ位置から演奏を続けます。

早送り、早戻しをする(サーチ)

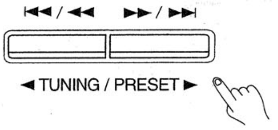


演奏中にボタンを押し続けます。指を離したところから演奏が始まります。

ヒント

メモリー演奏中は予約された曲の間でサーチします。(メモリー演奏については、21ページをご覧ください。)

前後の曲の頭出しをする(スキップ)



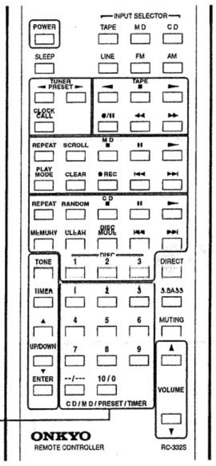
ボタンを押すたびに前後の曲の頭出しをします。演奏中に押すと、頭出しした曲から演奏が始まります。

⏮：演奏中に押すと、現在演奏中の曲の頭に戻ります。続けて2回押すと、前の曲の頭出しをします。

⏭：押すたびに次の曲の頭出しをします。

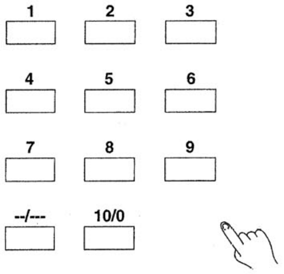
■聞きたい曲から演奏する(ダイレクト演奏)

リモコンのみの操作です。



数字ボタン

曲番を指定する。



停止中または演奏中に押すと、指定した曲番から演奏が始まります。
一時停止中に押すと、指定した曲の頭で一時停止となります。

ヒント

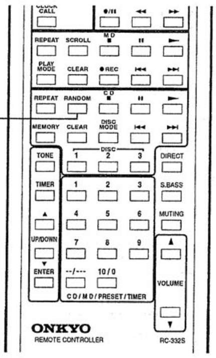
10曲目以上を指定するには

12曲目：[--/---]+[1]+[2]

20曲目：[--/---]+[2]+[10/0]

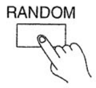
■ランダムに演奏する(ランダム演奏)

リモコンのみの操作です。



ランダムボタンを押す。

リモコン



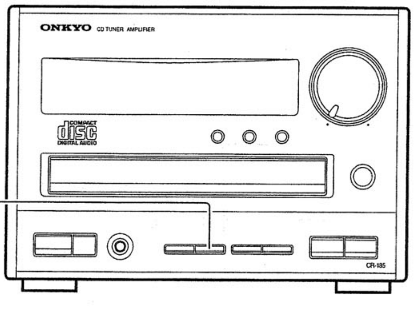
ヒント

- メモリー演奏時、予約曲を指定してランダムボタンを押すとランダム表示が点灯し、予約曲だけをランダム演奏します。
- ランダム演奏中にリピートボタン(REPEAT)を押すと、全曲の演奏終了後、改めて順序を並べ変えて演奏が始まります。

通常の演奏に戻すには

もう一度ランダムボタンを押します。

■残り時間や経過時間を確かめる

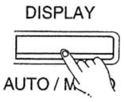


ご注意

次のような場合、時間表示は"- -:- -"になります。

- ディスクの21曲目以降の曲をメモリーした時に、残り時間または総残り時間表示にした場合
- メモリーした曲の総演奏時間が "99:59"を超えるメモリー演奏中に、総残り時間にした場合

ディスプレイボタンをくり返し押す。

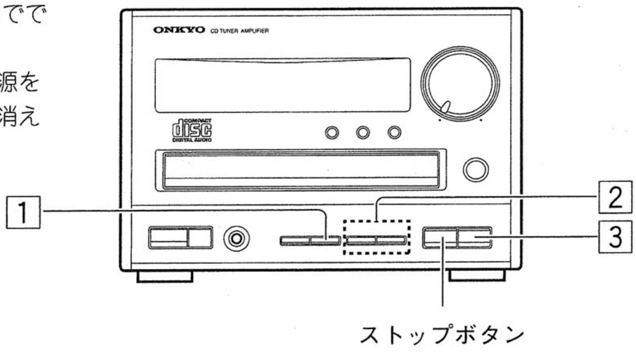


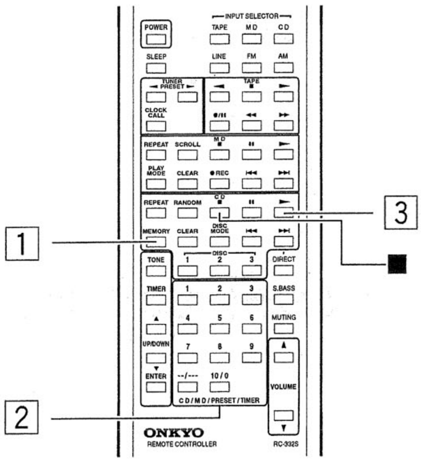
演奏中に押すと、押すごとに表示内容が次のように切り換わります。

演奏中の曲の経過時間
↓
演奏中の曲の残り時間(Ｓ点灯)
↓
ディスクの総残り時間(Ｔ点灯)
↓
演奏順(P-00)　：メモリー演奏時のみ

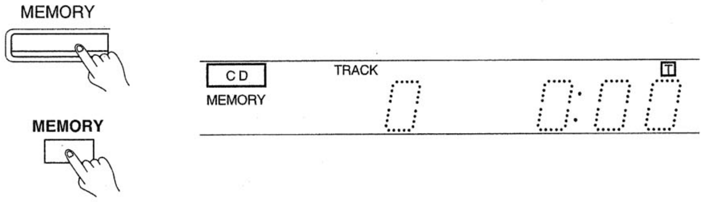
■ 予約演奏する(メモリー演奏)

- ディスクの中の聞きたい曲を選び、聞きたい順に演奏します。予約できる曲数は、20曲までです。
- メモリー演奏停止状態で電源を切っても、メモリー内容は消えません。





1 メモリーボタンを押す。

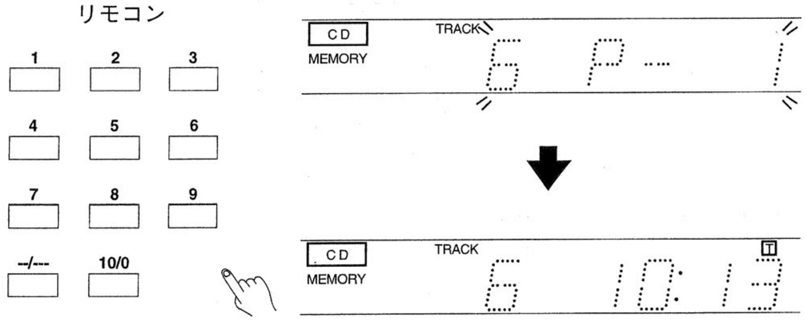


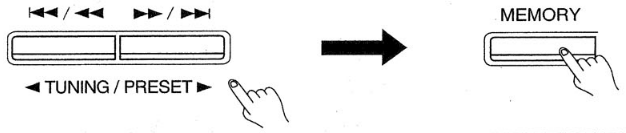
演奏停止中に押します。
メモリー表示が点灯します。

ヒント

演奏中に押すと、演奏している曲がP-1としてメモリーされます。

2 聞きたい曲を選ぶ。





リモコンの数字ボタンを押すたびに予約が追加されます。

ヒント

- 予約が20曲を超えると"FULL"表示になり、21曲目からは予約できません。

10曲目以上を指定するには

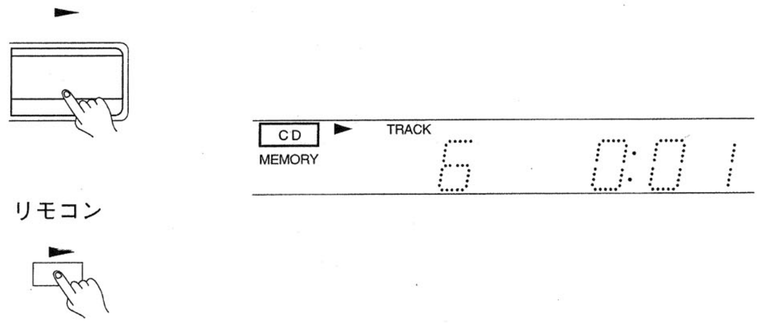
12曲目：--/--- ＋ 1 ＋ 2

20曲目：--/--- ＋ 2 ＋ 10/0

本体で予約するには

|◀◀/◀◀または▶▶/▶▶|ボタンで予約したい曲を表示させ、メモリーボタンを押します。

3 演奏を始める。

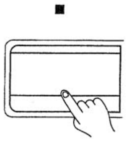


予約順に演奏が始まります。

メモリー演奏を止めるには

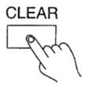
- メモリーボタン(MEMORY)を押します。演奏中の曲からノーマル演奏に戻ります。
- もう一度メモリーボタン(MEMORY)を押すとメモリー演奏になります。
- ストップボタン(■)を押すと、メモリー演奏を停止します。

予約を間違えたら



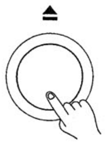
または

リモコン



メモリー演奏停止中(メモリー表示点灯中)にボタンを押してください。
押すたびに、最後の予約曲から順に取り消されます。

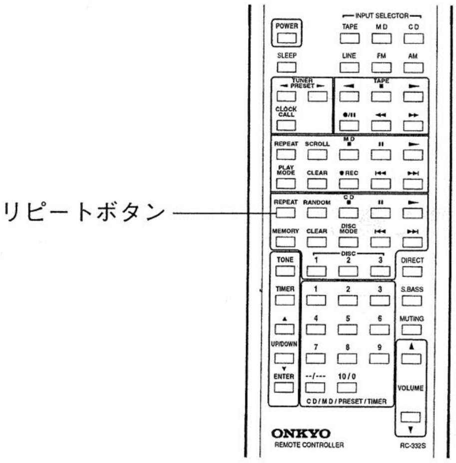
すべての予約を取り消すには



ディスクトレイが開き、メモリー演奏状態が解除されます。
改めて予約するには、「予約演奏をする」(21ページ)をご覧ください。

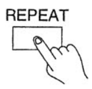
■リピート演奏する

リモコンのみの操作です。



リピートボタンを押す。

リモコン



演奏中に押すか、または停止中に押して(リピート表示が点灯します)からプレイボタン(►)を押します。

リピート演奏を解除するには
リピートボタンを押し、リピート表示を消します。

ヒント

1曲のリピート演奏をするには
リピートしたい曲番をメモリー演奏しリピートボタンを押します。

メモリー演奏では
予約曲だけが予約順に繰り返されます。

ランダム演奏では
全曲の演奏が終了するたびに、改めて順序を入れ替えて繰り返します。

CD演奏中に他の入力に切り換えると

・TAPEまたはMDに切り換えたとき
入力がTAPEまたはMDになり、CDプレーヤーはそのまま演奏を続けます。(CD ►表示が点灯しています。)

・FM/AMに切り換えたとき
FMまたはAMになり、CDプレーヤーは停止状態になります。
再びプレイボタン(►)を押すと元の位置から演奏を始めます。

タイマー演奏と録音

■タイマーのON/OFF時刻などを設定するには

リモコンのタイマーボタン(TIMER)を押すたびに、次の5種類の設定モードが切り換わります。設定したいモードが表示された状態で、エンターボタン(ENTER)を押し、設定操作をしてください。
タイマー演奏やタイマー録音を設定する場合は、現在時刻を合わせてください。

TIMER

	モード表示	→	設定できる項目	参照ページ
タイマー演奏	WEEKDAY	ENTER	ウイークデイ(月～金曜日)のタイマー演奏設定 • 開始時刻(ON時刻) • 終了時刻(OFF時刻) • 演奏ソース(FM/AM/CD/TAPE/MD/LINE) 曜日はDAY SETで変更できます。	24
タイマー演奏	WEEKEND	ENTER	ウイークエンド(土曜日と日曜日)のタイマー演奏設定 • 開始時刻(ON時刻) • 終了時刻(OFF時刻) • 演奏ソース(FM/AM/CD/TAPE/MD/LINE) 曜日はDAY SETで変更できます。	24
タイマー録音	REC	ENTER	タイマー録音設定 • 開始曜日 • 開始時刻(ON時刻) • 終了時刻(OFF時刻) • 録音したいプリセット放送局または、LINE IN端子に接続した機器 • 録音する機器(TAPE/MD/TAPEとMD)	26
その他	DAY SET	ENTER	タイマー演奏の曜日の変更	25
その他	ADJUST	ENTER	現在時刻と曜日の設定	11

■タイマー演奏やタイマー録音の実行を取り消すには

- 実行したいモードが表示された状態で、▲または▼ボタンでOFFを選び、エンターボタン(ENTER)を押します。再び実行する場合には、同じ手順でONに設定してください。
- 時刻設定されていない場合は、ON/OFFの設定はできません。

TIMER

モード表示	→	ON/OFF設定	→	表示
WEEKDAY WEEKEND REC	▲ UP/DOWN ▼	**ON：** タイマー演奏またはタイマー録音を実行します。	ENTER	TIMER W.DAY
		OFF： 設定時刻になってもタイマー演奏/タイマー録音は動作しません。		TIMER W.DAY ↑ 消える

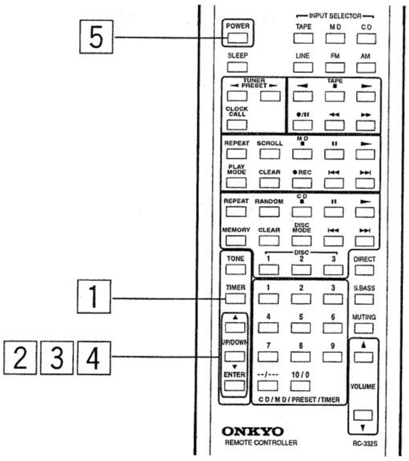
タイマー演奏と録音

■タイマー演奏をする

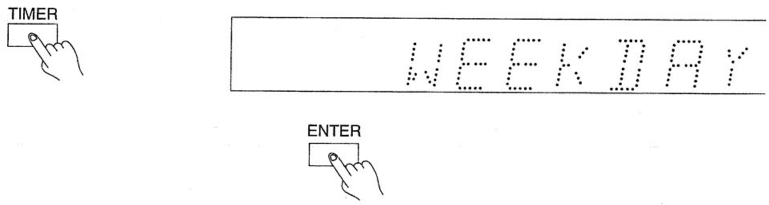
ヒント 本体での操作について(タイマー演奏、タイマー録音)
スタンバイ状態からメモリーボタンとディスプレイボタンを押すとタイマー設定モードに入ります。リモコンのボタンと同じ操作が以下のボタンでできます。

リモコン	本体
TIMER	DISPLAY
▲	►►/►►I
▼	I◄◄/◄◄
ENTER	MEMORY

ご注意
- 現在時刻を合わせていないとタイマー機能は働きません。
- FM, AMのタイマー演奏、録音はあらかじめ放送局をプリセットしておかなければ設定できません。(P.15プリセットメモリーの項参照)

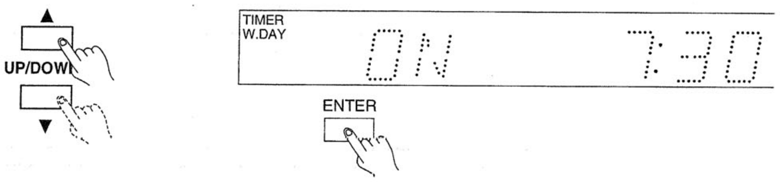


1 "WEEKDAY"または"WEEKEND"を選ぶ。



タイマーボタンを繰り返し押して"WEEKDAY"または"WEEKEND"表示を選び、エンターボタンを押します。

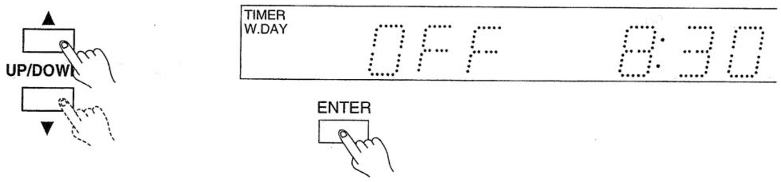
2 演奏開始時刻を設定する。



▲または▼ボタンまたは数字ボタンでON/OFF時刻を選び、エンターボタンを押します。

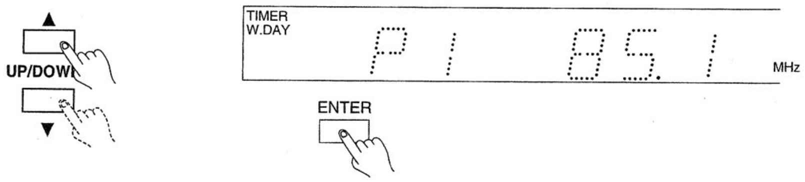
ヒント
- リモコンの数字ボタンを使って設定するには
  例：　午前7時30分にセットする場合
  10/0 ＋ 7 ＋ 3 ＋ 10/0 ＋ ENTER
  午後18時35分にセットする場合
  1 ＋ 8 ＋ 3 ＋ 5 ＋ ENTER
- ON時刻を設定すると、OFF時刻は自動的に1時間後の表示になります。そのままエンターボタンを押すと、1時間後に設定されます。

3 演奏終了時刻を設定する。



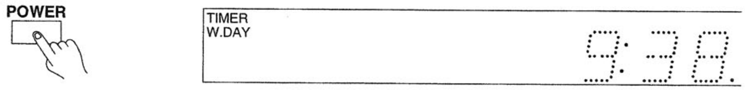
ヒント
CDをタイマー演奏するときあらかじめメモリーしておくと、(P.21参照) メモリーした曲が演奏されます。

4 演奏ソースを選ぶ。



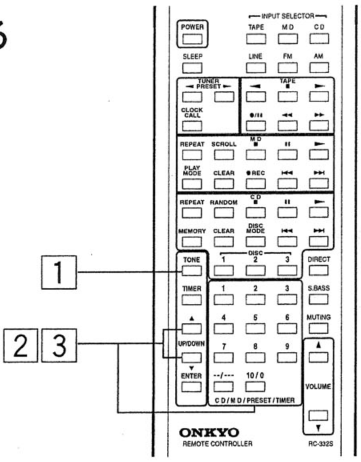
- ▲または▼ボタンでFM、AM、CD、TAPE、MD、LINEのいずれかを選び、エンターボタンを押します。
- FMまたはAMを選んだ場合は、さらに▲または▼ボタンでプリセットナンバーを選び、エンターボタンを押します。

5 電源を切る。

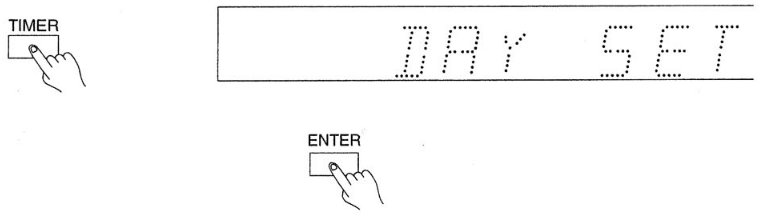


設定した時間だけ電源が入り、タイマー演奏を行います。

■タイマー演奏の曜日を変更する

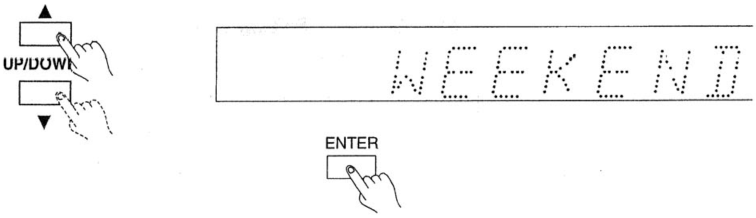


1 "DAY SET"を選ぶ。



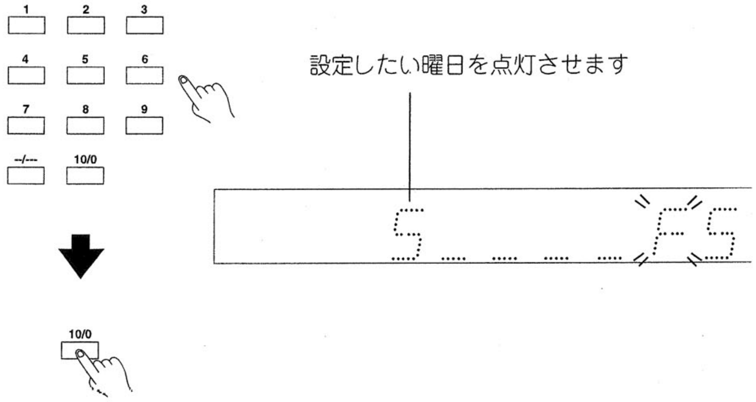
タイマーボタンを繰り返し押して"DAY SET"表示をを選び、エンターボタンを押します。

2 曜日を変更する項目("WEEKDAY"または"WEEKEND")を選ぶ。



▲または▼ボタンで変更する方を表示させて、エンターボタンを押します。

3 曜日を変更する。

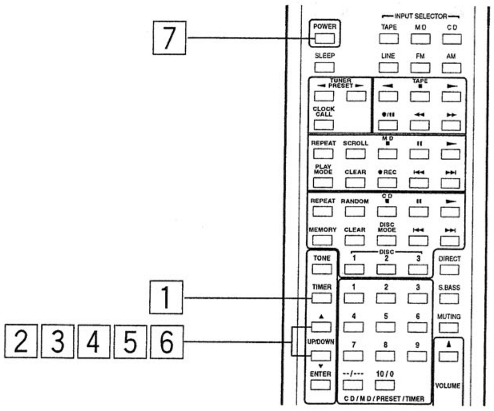


数字ボタンで曜日変更ができます。

1：S（日曜日）　5：T（木曜日）
2：M（月曜日）　6：F（金曜日）
3：T（火曜日）　7：S（土曜日）
4：W（水曜日）　0：設定変更終了

またはエンターボタンで変更する曜日まで点滅部を移動し、▲または▼ボタンで変更します。変更終了はエンターボタンで点滅が終わるまで移動します。

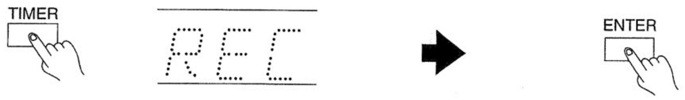
■タイマー録音をする



ご注意

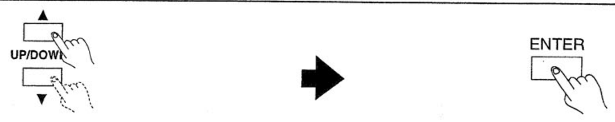
- 現在時刻を合わせていないとタイマー機能は働きません。
- タイマー録音の実行は1度だけです。タイマー録音が終了すると、予約は解除されます。
- テープに録音する場合は、K-185IIをシステム接続してください。
- MDに録音する場合は、MD-185IIをシステム接続してください。

1 "REC"を選ぶ。



タイマーボタンを繰り返し押して"REC"表示を選び、エンターボタンを押します。

2 曜日を設定する。



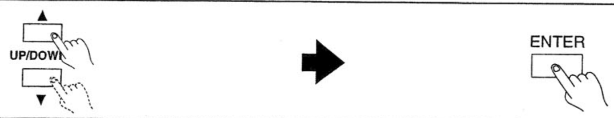
▲または▼ボタンで曜日とON/OFF時刻を選び、ENTERボタンを押します。

ヒント

- ON時刻を設定すると、OFF時刻は自動的に1時間後の表示になります。
- 曜日の設定時、"NEXT"を選ぶと、設定した時刻が次に来たときにタイマーが働きます。

3 録音開始時刻を設定する。

4 録音終了時刻を設定する。



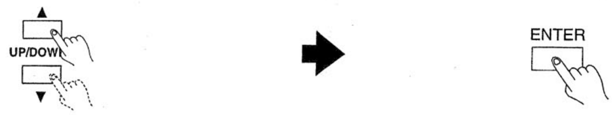
数字ボタンで時刻設定するには

4桁続けて押します。

例)　7:30　→　10/0 + 7 + 3 + 10/0

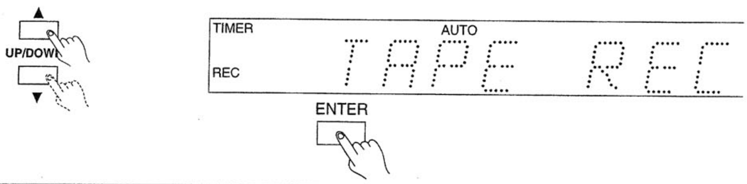
　　21:00　→　2 + 1 + 10/0 + 10/0

5 録音する放送局を選ぶ。



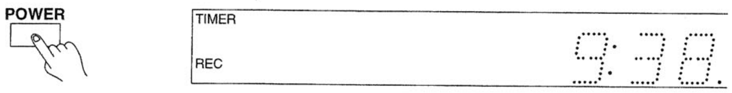
- ▲または▼ボタンで"FM"または"AM"表示を選び、エンターボタンを押します。
- 次に▲または▼ボタンでプリセットナンバーを選び、エンターボタンを押します。

6 録音する機器を選ぶ。



▲または▼ボタンで"TAPE"(カセットデッキ)または"MD"(ミニディスクレコーダー)または、MD/TAPE表示を選び、エンターボタンを押します。

7 電源を切る。



設定した時間だけ電源が入り、タイマー録音を行います。

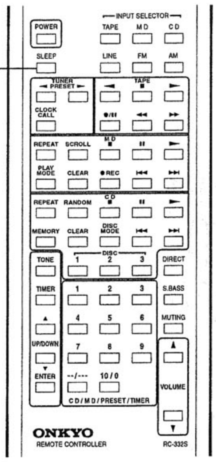
タイマー録音中はミューティングが働いています。録音中の音を確認したいときは、ミューティングボタン(MUTING)を押して、解除してください。

■スリープタイマー

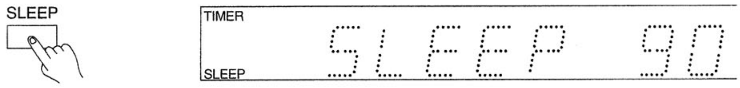
リモコンのみの操作です。

- 設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

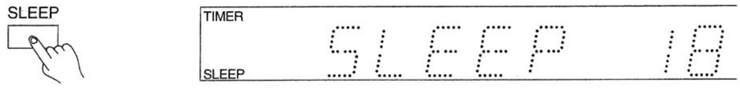
スリープボタン



スリープ時間を設定する。



スリープ時間を確かめる



設定した時間が過ぎると、電源が切れます。

スリープボタンを押すたびに、90分から10分単位で時間が短くなります。

残り時間を確かめるには
スリープ動作中にスリープボタンを押します。

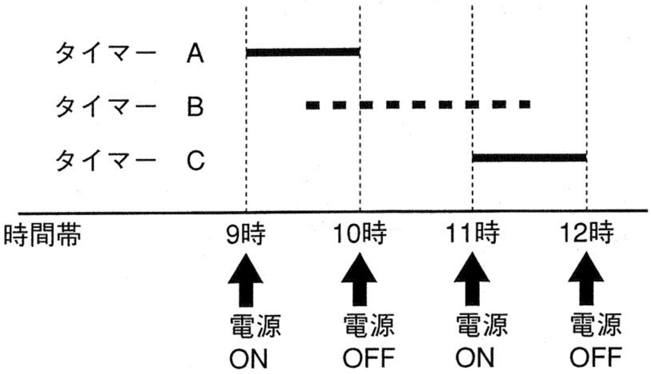
スリープタイマーを解除するには
スリープボタンを押してスリープ表示を消すか、一度電源を切ってから再度電源を入れてください。

ヒント

CDダビング中はダビングが完了してから電源が切れます。寝る前や外出前にダビングを始めることができます。

タイマー動作についてのご注意

- 時計が停電表示(0:00点滅)では、タイマーは動作しません。必ず現在時刻と曜日を設定してください。
- 電源が入っているときには、タイマー時刻になってもタイマーは動作しません。タイマーで電源を入れるときには必ず電源を切っておいてください。
- タイマー録音などですでに電源が入っているとき(右図のA)に、タイマー演奏など別のタイマー設定(右図のB)の開始時刻になっても、そのタイマーは動作しません。電源は先に動作しているタイマーの終了時刻になったときに切れます。
- また右図のAのタイマー終了時刻とBのタイマー開始時刻が同じ場合もBタイマーは動作しません。Aのタイマーの終了時刻からBのタイマーの開始時刻は1分以上の間隔をとってください。
- タイマー録音またはタイマー演奏で電源が入っているときにスリープタイマーを動作させると、スリープタイマーによって先に動作しているタイマーの終了時刻ではなくスリープタイマーで電源が切れます。
- WEEKDAY/WEEKEND/RECの2つ以上のタイマーが同じ時刻で設定されている場合、開始時刻で動作するタイマーの優先順位はWEEKDAY→WEEKEND→RECの順です。
- タイマー録音は、開始時刻で無効(本機の電源が入っている場合など)であれば、TIMER REC表示が消え、予約を解除します。



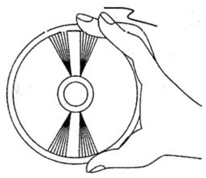
ディスクの取り扱い

■ CD(コンパクトディスク)は下記のマークの入ったものをご使用ください。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

■取り扱いについて

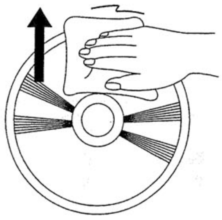
- 演奏面(印刷されていない面)に触れないように、両端をはさむようにに持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。



- 演奏面はもちろんラベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またキズなどをつけないようにしてください。

■お手入れについて

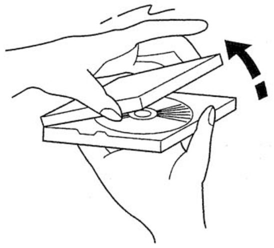
- 汚れにより信号読み取りが低減し、音トビや演奏できない場合があります。演奏前に演奏面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。



- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水で浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた柔らかい布で水気を拭き取ってください。
- アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

■保管上の注意について

- 直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけて垂直に保管してください。
- 必ず専用ケースに入れて保管してください。



故障？と思ったら

本機が正常に動作しないときは、この表を参考にしてお調べください。本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズまた、静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約5秒後にあらためて電源プラグを差し込んでください。またシステムの接続は確実に行ってください。これらの処理をしても直らないとき、これ以外の症状のときは、電源コードをコンセントから抜いて「お名前」「おところ」「電話番号」「セット型名」「故障状況」をできるだけ詳しくお買い上げいただいたお店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。

チューナー関係

症状	原因	処置
電源が入らない	• 電源プラグが確実に接続されていない。	• 電源プラグを家庭用壁コンセントにしっかり接続してください。
ＦＭステレオ放送のとき、モノラル放送にくらべ「サー」というノイズが出る。	• FMステレオ電波はモノラル電波に比べ、変調のしかたが異なるのでノイズが多くなります。	• 音質調整で高音を下げてください。(13ページ参照)
モノラル放送、ステレオ放送とも雑音が多い。	• アンテナの設置場所や向きが不適当。 • 放送電波が弱い。	• アンテナの設置場所、高さ、方向を変えてみてください。 • 室内アンテナなら屋外アンテナにしてください。
STEREO表示が点滅し、完全に点灯しない。	• アンテナの向きが不適当。 • 放送電波が弱い。	
音がひずんだり小さくなったりする。	• 電波の乱れ。 • 近くを自動車が走っていたり、飛行機が飛んでいる。	
ステレオ放送で雑音が多く、時々音が出なくなる。	• アンテナの設置場所や向きが不適当。 • 放送電波が弱い。	
ステレオ放送で音にひずみ音が多い。	• 近くにビルや山がある。 〔送信所からの電波(直接波)とビルや山に反射した電波(反射波)との干渉によりマルチパスひずみが生じている〕	
周波数表示は出ているが音が出ない。	• 放送電波が弱い。	
ステレオ放送にならない。	• 放送電波が弱い。	
	• 放送電波がステレオ放送でない。	
	• AUTO/MONOがMONOになっている。	• AUTOにしてください。(17ページ参照)
リモコンのチューナープリセットボタンでプリセットナンバーを選んでも選局できない。	• 放送局がメモリーされていない。	• 放送局をメモリーしてください。(14～15ページ参照)
AM放送受信時、雑音が入る。	• TVがすぐそばにあり受信状態になっている。	• TVの電源を切ってください。
時計表示の"0:00"が点滅している。	• 時刻合わせができていない。 • 時刻合わせをした後に停電があった。	• 時刻セットをしてください。(11ページ「現在時刻と曜日を合わせる」の項参照)
タイマーの設定ができない。	• 時刻合わせができていない。 • タイマー演奏、録音が実行されている。	• 時刻セットをしてください。(11ページ「現在時刻と曜日を合わせる」の項参照) • タイマー演奏、録音の実行を取り消してください。(23ページ参照)

故障？と思ったら

アンプ・スピーカー関係

症状	原因	処置
スピーカーの左右とも音が出ない。	• スピーカーコードがはずれている。 • ボリュームが最小になっている。 • ミューティングが働いている。	• CDチューナーアンプとスピーカーの接続を点検してください。（7ページ参照） • 適当な音量にしてください。 • リモコンのMUTINGボタンを押して解除してください。（12ページ参照）
スピーカーの片側の音が出ない。または小さい。	• スピーカーコードがはずれている。 • バランスが左または右に片寄っている。	• CDチューナーアンプとスピーカーの接続を点検してください。（7ページ参照） • 適切な位置にバランスを調整してください。（13ページ参照）

CDプレーヤー関係

症状	原因	処置
ディスクを入れても演奏ができない。	• ディスクの裏表が逆になっている。 • ディスクがひどく汚れている。 • 結露している。	• ディスクのラベル面を上にして入れ直してください。 • ディスクをクリーニングしてください。（28ページ「お手入れについて」の項参照） • 本機を暖かい所に1時間ぐらい置いてください。
音とびがする。	• ディスクがひどく汚れている。 • ディスクに大きなキズがある。 • セットに振動が加わっている。	• ディスクをクリーニングしてください。（28ページ「お手入れについて」の項参照） • ディスクを新しいものに取り替えてください。 • 振動のない場所に移動してください。
選曲時間（指定の曲をさがし出す時間）が極端に長い。	• ディスクにキズや汚れがついている。	• ディスクをクリーニングしてください。キズのときはディスクを新しいものに取り替えてください。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力：	25W＋25W(EIAJ、4Ω)、 22W＋22W(EIAJ、6Ω)
定格出力：	20W＋20W(4Ω)、 17W＋17W(6Ω)
全高調波ひずみ率：	0.2%(1kHz、定格出力時)
SN比：	100dB(TAPE、MD)
周波数特性：	5Hz〜50kHz/＋0、−3dB
トーンコントロール：	Super Bass；55Hz、＋9.5dB Bass；100Hz、±10dB Treble；10kHz、±10dB

チューナー部

受信周波数：	FM 76.0〜90.0 MHz AM 522〜1629 kHz
感度(FM)：	19.2dBf (2.5μV、75Ω、SN 50dB)
SN比(FM)：	78dB(MONO)、72dB(STEREO)
ひずみ率(FM)：	1.5%(MONO)、2.0%(STEREO)
ステレオセパレーション(FM)：	33dB(1kHz)
タイマーモード：	Weekday、Weekend、Rec、 Sleep

CD部

型式：	コンパクトディスクデジタルオーディオプレーヤー
読み取り方式：	非接触光学式
D/Aコンバーター：	シングルビット方式
周波数特性：	5Hz〜20kHz
ワウ・フラッタ：	測定限界以下

共通部

電源：	AC 100V 50/60Hz
消費電力：	40W(電気用品取締法)
寸法：	185(W)×131(H)×331(D)mm
質量：	4.0kg(付属品含まず)

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、保証書に記載されている規定に基づき修理致します。詳細は保証書をご覧ください。

■修理を依頼されるときは

「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名(CR-185II)」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお買い上げ店、またはオンキョーサービスステーションまでご連絡ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

artistry in sound
ONKYO®
オンキヨー株式会社
本社　大阪府寝屋川市日新町2−1　〒572

アフターサービスのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくはサービス網一覧表記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。
●東京サービスセンター　☎03(3861)8121　●大阪サービスセンター　☎0720(32)1616

ONKYO HOMEPAGE
http://www.onkyo.co.jp/

SN29342399

01-77-10K-TMN　Printed in Japan